

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010202030200		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	クラブ活動運営事業		予算事業名	クラブ活動運営事業	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
施策名(中)		たくましい人を育てる教育を推進する		担当課長	木本 博子	担当者名	竹口 智哉
取組み事項		健やかでたくましい体づくりをする		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		吹奏楽部楽器リース契約					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学校生徒・中学校教職員					
	誰(何)を対象として	中学校生徒・中学校教職員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	部活動を通して、生徒の協調性、社会生活への適応性を養いながら健全育成を図る。					
	事業の全体年度	事業着手年度	(年度)	事業完了予定年度	(年度)		

2 事業の概要 Do

実施の概要		部活動を通して、体力の増進、協調性、想像力の高揚を図る。 部活動指導員を配置し、顧問の負担軽減と指導の充実を図る。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度計画
	部活動数(3中学校計)	部	27	27	27	
	加入生徒数(3中学校計)	人	575	574	576	
	部活動指導員配置数	人	4	4	5	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	3年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	0.030	100	
	参事以下職員	0.144	0.140	97	0.140	100		0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,440,236	1,409,309	98	1,318,720	94	357,960	27	
	事業費	1,575,221	1,566,860	99	1,763,171	113		0	
	合計	3,015,457	2,976,169	99	3,081,891	104	357,960	12	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	306,000	306,000	100	384,000	125		0	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,015,457	2,976,169	99	2,697,891	91	357,960	13	
合計		3,015,457	2,976,169	99	3,081,891	104	357,960	12	

※ 事業の進捗状況

		事業費単位:円				
項目		30年度	1年度	2年度	3年度	
全体進捗率	事業費累計					/
	進捗率					

4 評価指標

[有効性]

指標名1		部活動加入率							
指標説明(式)		部活動加入生徒数÷生徒数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	3年度(計画)	前年比	備考
%	目標	90.0	90.0	100.0	90.0	100.0		0.0	
	実績	91.1	89.7	98.5	85.2	95.0			
指標名2		部活動指導員配置時間数							
指標説明(式)		勤務日数×2時間(1日あたり勤務時間)×部活動指導員数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	3年度(計画)	前年比	備考
時間	目標	288	288	100.0	360	125.0		0.0	
	実績	288	288	100.0	360	125.0			

【効率性】

指標名1		吹奏楽部に係る経費							
指標説明(式)		事業費(部活動指導員に係る経費を除く)÷2校(那波中学校・双葉中学校)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	3年度(計画)	前年比	備考
円	目標	758,300	745,500	98.3	815,000	109.3		0.0	
	実績	557,210	553,030	99.2	593,586	107.3			
指標名2		競技経験が有る教職員、部活動指導員が担当している部の割合							
指標説明(式)		競技経験が有る教職員、部活動指導員が担当している部÷部活動数(3中学校計)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	3年度(計画)	前年比	備考
%	目標	66.7	66.7	100.0	66.7	100.0		0.0	
	実績	70.4	70.4	100.0	70.4	100.0			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	部活動は、心身の成長が著しい生徒が、自らの興味関心等を深く追求し、個性や能力の伸張や、学年や学級を超えて仲間と切磋琢磨しながら社会性を育むことを目的としている。	5
	市の関与の妥当性	「相生市部活動ガイドライン」に基づき、各中学校が運営する部活動について、安全かつ持続的な運営を実現させるための人的支援として、部活動指導員を配置する。	
有効性	成果目標(改善)達成度	コロナウイルス感染症の影響により活動が制限された期間もあったが、生徒の協調性、社会生活への適応性を養いながら健全育成が図れた。	5
	成果の向上	競技経験が無い教職員が顧問を務める部活動などに指導員を配置することで、顧問の指導時間の短縮による負担軽減と、専門的指導による生徒の技能向上を図った。	
効率性	手段の最適性	那波中学校、双葉中学校の吹奏楽部活動に必要な経費について、保守委託契約に関する仕様や、楽器の更新・修繕等の計画を見直すことで、予算の削減及び平準化が図れた。	4
	執行体制の効率性	教育支援体制整備事業費補助金(国1/3、県1/3、市1/3)を財源に、5名の部活動指導員を配置し、安定した部活動運営に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	コロナウイルス感染症による大会の中止など、例年どおりの活動ができない期間もあったが、感染症対策を徹底したうえで代替大会や行事を行うなど、成果は得られた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	安定した部活動運営を実現するために、専門的な知識・技能を有する外部人材を継続的に確保する必要がある。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	文化部を含む外部人材の継続的確保のため、関係機関との連携体制を強化する。

配点	32.5
総合評価	26.5

(2) 4年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	少子化に伴う生徒数・部員数の減少を見据えながら、適正かつ持続可能な運営体制について検討する。				
見直事項	部活動指導員の役割や、勤務日数・時間について、配置校と協議しながら、より効果的な配置について再検討する。				
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持